

くらしと協同の研究所

第21回総会記念シンポジウムご案内(第1次)

陽春の候、皆さまにおかれましては益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。
さて、当研究所は下記要項で「第21回総会記念シンポジウム」を開催いたします。詳しくは5月上旬発送予定の「確定案内」をご覧ください。皆さまのご参加を心よりお待ちしております。

日程：2013年6月29日(土)～6月30日(日)

会場：京都テルサ(京都市南区新町通九条下ル) ※会場が例年とは異なりますのでご注意ください。

テーマ：生協は現代の「経営危機」を克服できるか

開催趣旨

昨年度くらしと協同の研究所の総会記念シンポジウムでは、多様な協同の価値に光をあてながら協同の重要性を再確認し、生協・協同組合の可能性を議論しました。本年度以降は、協同の価値を実現するしくみとしての生協・協同組合が取り組むべき課題を明らかにしながら、その針路を展望していきたいと考えます。しかしそれは、昨今の社会経済的な情勢を考えると、決して生易しいことではありません。とりわけ、経済政策においては新自由主義的な考え方が蔓延り、地域が固有に有する歴史・文化・風土などを無視した制度改革の要請が強化されています。社会的には「改革」「閉塞感の打破」に名を借りた大衆煽動的な思想がマスコミ等によって流布されていることも否めません。

こうした状況の中で、公企業、私企業に並ぶ第三のセクターを形成し、特に近年では市場経済と同時に社会問題や公共政策にも対応する存在として位置づけられる協同組合の役割が極めて重要になるはずですが、果たして生協では真に協同組合らしい事業が展開されているのでしょうか。組合員や役員間での信頼関係に根ざした運営がなされているのでしょうか。

これらが実現できていない基本的な要因は、現代の生協が「経営危機」に直面しており、それを克服するための方策が確立されていない点にあると考えます。ここで言う「経営危機」とは、①生協が自らの経営環境を適確に認識することができておらず、取り組むべき課題が明らかになっていないこと、②経営環境に主体的に対応するための生協そのもののしくみが確立していないこと、より具体的には、一般の企業とはひと味もふた味も違う生協らしい事業、組合員の参加や活動、職員の働き方なども含めたトータルなマネジメントが確立できていないこと、として捉えておきます。いずれにせよ、生協が直面している「経営危機」とは、単に事業の伸び悩み、経営収支の悪化として捉えることではありません。生協の事業とそれを支える組織、さらには経営を支える理念の問題なども含めた「複合的な危機」として認識することが重要です。

こうした問題意識を踏まえて1日目の基調報告では、研究所におけるこれまで20年の議論をふり返りつつ、改めて生協・協同組合にとっての危機とは何かという点について問題提起を行います。シンポジウムでは、研究者による経営環境の分析と生協現場からの実践報告に基づいて、「経営危機」克服のための課題と方策について考えます。2日目の分科会では、生協にとって重要な構成主体である組合員と職員、ならびに生協らしい事業について考える分科会を設定し、1日目の内容も踏まえながら議論します。

今回の総会記念シンポジウムを通して、10年後を見据えた生協の針路を展望すると同時に、20年の歴史を積み重ねてきた研究所が今後取り組むべき調査・研究課題を明らかにしたいと考えます。多くの皆さまのご参加を心より期待しています。

第21回総会記念シンポジウム企画責任者
北川 太一(研究委員会副委員長)

6月29日(土)13:00~17:30

13:00 開会挨拶

13:10 **基調講演** 講師：浜岡政好氏（佛教大学）

「生協にとって『経営危機』とは何か—研究所 20年：これまでとこれから—」

趣旨：研究所のこれまでの20年の議論をふり返りつつ、改めて生協・協同組合にとっての危機とは何かという点について問題提起を行う

14:10 休憩

14:20 **シンポジウム** コーディネーター：鈴木勉氏（佛教大学）

◆研究報告「生協をとりまく経営環境をどう認識するか」

① 「くらし、雇用、地域経済の観点から」 豊福裕二氏（三重大学）

② 「人のつながり、地域社会の観点から」 庄司俊作氏（同志社大学）

◆実践報告「『経営危機』克服にむけての課題は何か」

① 夏目有人氏（コープあいち理事長）

② 池 晶平氏（おおさかパルコープ副理事長）

◆コメント 二場邦彦氏（立命館大学名誉教授）

◆全体討議

17:30 終了予定

その後、「第21回総会」「懇親会」を開催します。

6月30日(日)9:30~12:309:30 **分科会****第1分科会** 「生協にとって組合員の存在とは？」

コーディネーター：小池恒男氏（滋賀県立大学名誉教授） 中川順子氏（立命館大学）

第2分科会 「生協らしい職員の働き方とは？」

コーディネーター：杉本貴志氏（関西大学）

第3分科会 「生協らしい事業とは何か？」

コーディネーター：北川太一氏（福井県立大学）

特別分科会 「東日本大震災後のくらしの変化と生協の役割を考える」

コーディネーター：浜岡政好氏（佛教大学）

12:30 終了予定

ご参加にあたって…

お申込みの詳細は、5月上旬の確定案内にてお知らせしますのでご確認ください。

参加費（予定） 会員(団体・個人)＝通し参加 3000円/1日参加 2000円

非会員(当日ご入会は会員価格で可)＝通し参加 8000円/1日参加 5000円

学生・院生(社会人除く)＝通し参加 2000円/1日参加 1000円

会場は「京都テルサ」で、例年とは異なりますのでご注意ください。

くらしと協同の研究所

京都市中京区夷川通烏丸東入る西九軒町 291 (〒604-0851)

TEL: 075-256-3335 FAX: 075-211-5037

E-mail: kki@ma1.seikyone.jp (ma1の「1」は数字)URL: <http://ha1.seikyone.jp/home/kki/>